

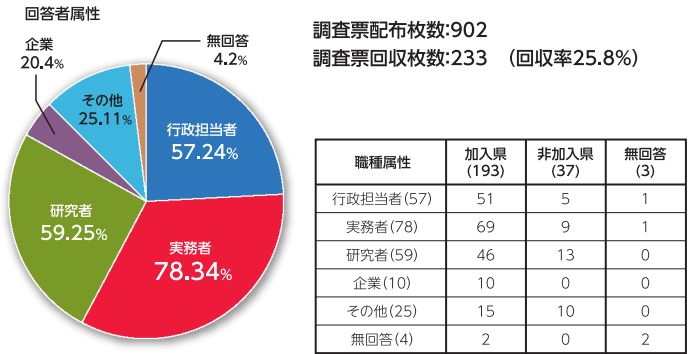
地域がん登録全国協議会 意識調査実施報告

成澤 麻子 尾崎 恭子

特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会事務局

日ごろ、地域がん登録全国協議会に多大なご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2010年1月、本協議会は任意団体からNPO法人化し、わが国唯一の地域がん登録事業関連の民間団体として発展すべく活動を新たにしています。そして今年8月、本協議会の目的と役割を明確にするるとともに、地域がん登録事業に関わる全ての方々のご意見を活動に反映させることを目的とし、「意識調査」を実施いたしました。皆様の多大なご協力により、地域がん登録事業の充実・発展の支援を目的とした協議会活動の活性化のために、重要な情報収集の機会となりました。改めて、ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。今後はこの調査結果を踏まえた協議会活動を企画、実施していきたいと考えています。引き続き、協議会活動に関し、皆様のご意見、ご要望をお寄せいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



本協議会では、7つの事業を掲げて特定非営利活動をしています。今回の意識調査では、7つの事業における主要な活動ごとに、①認知度(活用度)、②活動に関する感想、③活動への要望を伺いました。ここでは、長さに渡り取り組んでいる事業に関する調査結果をいくつかご報告いたします。

今後はどのようなセミナーや講演会があるといいとお考えですか? (複数選択可)

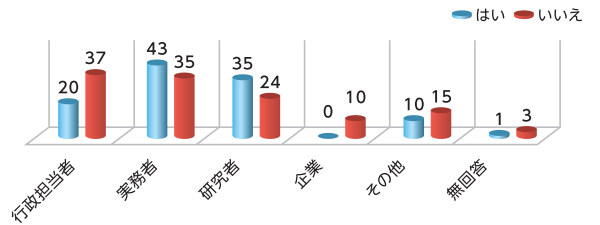
地域がん登録に特化した集会として唯一の機会であるため、現状の地域がん登録の状況や課題を踏まえた回答が目立ちました。地域がん登録の理解を求める市民や医療機関向けのプログラムの要望はもちろん、県の実情にあった技術支援や地域別の担当者集会の開催、また、地域がん登録を活用するための統計・疫学セミナーや活用事例報告会などの行政向けのプログラムを希望する声も多くありました。一方、国立がん研究センターなどが開催するプログラムとの差別化がされていないなどの意見もあり、今後の学術集会プログラムを検討するうえで大変有効な調査結果となりました。

学術集会について

がん登録に関する学術集会、セミナー、公開講演会等の開催事業

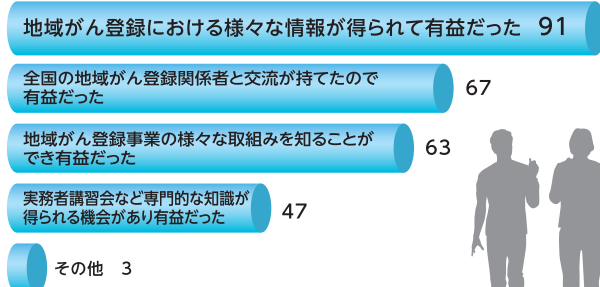
学術集会に参加したことがありますか?

全体の参加経験者は、回答者の50%未満でした。行政担当者においては、6割以上の方が参加経験が無いと回答されました。一方、実務者、研究者においては参加経験者数が多く、実務者研修会や学術発表など、これまで実務者および研究者を中心として学術集会が開催されてきた経緯が浮き彫りになっています。



感想 参加した学術集会や講演会は有益でしたか? (複数選択可)

参加者はいずれも、学術集会参加が有益であったと回答しています。地域がん登録に関する情報収集、関係者交流などは、地域がん登録に特化した全国規模の学術集会だからこそ得られる機会となっています。



要望

